



令和6年4月1日
目黒区立菅刈保育園長

入園・進級おめでとうございます。

園庭では子どもたちが裸足になり、砂場で山作りやご馳走作りをして遊んでいます。

今年は23人の卒園児が元気に巣立ち、24人の新入園のお子さんを迎え、新年度が始まりました。新しい先生や友達との出会いをドキドキした気持ちで迎えている子どもたちです。このドキドキが不安ではなく、期待や楽しみになるよう温かな関わりを大切にしていきたいと思ひます。

先日、りす組が園庭で遊んでいると泣き声が聞こえてきました。「何で泣いているの」と声をかけると他で遊んでいる子が「あのね、お父さんと手をパンパンしたかったの」「寂しくなっちゃったの」と状況を説明してくれます。その言葉には日頃から、友達の姿を見ているからこそ言える言葉だと思ひました。「やっぱりお家がいいよね」と言っでは、泣いている子の気持ちに寄り添い代弁してくれています。そして、泣き止むまで側にいてくれる姿もありました。また、すみれ組では廊下ですべり台をやっていて反対から登ろうとした子がいたので保育士が「危ないよ」と注意をすると泣いてしまった子がいました。すると他の子が「泣かないで」と言ってギュッと抱きしめてあげていました。他の子は「怒られちゃったね」とまるで保育士が泣かせたでしょと言わんばかりの目線を保育士に送り、頭を撫でてあげていました。友達の気持ちを理解しようとして思いを寄せて慰めてあげる姿は、同じ年齢であるからこそ気持ちが分かり共感できることだと改めて思ひました。菅刈保育園の園目標である「思いやりのある子ども」の目指す姿であり、保育園だからこそ経験出来る良さがあります。新しい環境に対する子どもの反応は一人一人異なります。子ども一人一人の表現とその奥にある思いを受け止めながら丁寧に関わっていききたいと思ひます。また、保護者の方との毎日の挨拶や会話を大切に、子どもを真ん中にして信頼し協力し合える関係を築いていききたいと思ひます。

今月の予定

入園説明会	全体保護者会
身体計測（乳児）	春の遠足（4・5歳児）
身体計測（幼児）	
幼児顔合わせ会	避難訓練

一年間大切にしていきたいこと

看護師

子どもたちが楽しく園生活が送れるように、健康面・安全面に配慮していきます。

事務所

子どもたちと保護者の方が毎日笑顔で過ごせるような園運営を心がけます。気軽にお声がけください。

給食室

素材の味を大切に、子どもたちが笑顔になれるような給食を作っていきたいと思ひます。

用務

みんなが笑顔で安心して過ごせるような心地よい環境づくりを目指します。

ひろば

地域の親子が笑顔で楽しく遊べる居場所づくりを心掛けていきます。

つぼみ組(0歳児クラス)

「一人ひとりが心地よく過ごせる あたたかい場所」

新しい環境の中で子どもたちが安心して笑顔で過ごせるように保育士が一人一人の思いに寄り添い、受けとめていくことを大切にしていきます。「抱っこ嬉しいね」「綺麗になって気持ちいいね」とゆったりと優しく語りかけ、子どもの気持ちを汲み取りながら、安心と心地よさを感じられるようにしていきます。戸外に出て一緒に季節を感じたり、スキンシップを大切にふれあい遊びを楽しんだり、遊びや生活を通して子どもたちと信頼関係を築いていきたいです。

すみれ組(1歳児クラス)

「子どもの気持ちを“言葉”にして」

立って歩くようになり、見える世界が変わって新しいものへの興味関心が広がっていく1歳児クラス。意味のある言葉を話だし、自我が芽生える時期で“自分でやってみたい”という気持ちも育っていきます。また、上手く言葉にできないため、怒ったり泣いたりしてしまうこともあります。子どもの表情や行動をよく見て「これが欲しかったの」などと伝えたかった気持ちを言葉にして、大人と通じ合える喜びを感じとれることを大切にしていきたいと思います。そして自分でできることへの喜びに繋げていきたいです。

ひまわり組(2歳児クラス)

「げんき・パワフル・和気あいあい」

親しい大人との安心できる関係性の中で、自分の気持ちを十分に表現していくことを大切にしていきます。“自分でやりたい”という気持ちを大切にし、できた経験から“次への意欲”に繋げていきます。自分の世界を広げるために、自由奔放に生きる2歳児の姿や、時にはぶつかり合いながら育ちあう子ども集団を保育士が仲立ちしながら「たくさん遊んで楽しかった」「友達と一緒に楽しい」と感じられるようにしていきます。

いす組(3歳児クラス)

「好きな遊びを楽しもう 友達と一緒に楽しいね」

自分の気持ちを伝えようとしたり相手の気持ちを知ろうとしたりするようになり、友達との関わりが増えてきました。保育士が一人一人の気持ちに寄り添う中で、友達と一緒にだと楽しい、嬉しいと思える経験をしていけるように関わっていきます。また様々な活動の中で年上の子との関わりが増えるので、遊びを真似て“やってみたい”と思うようになっていきます。やろうとする気持ちを認めながら意欲を引き出し、“自分で出来た”という気持ちや満足感が感じられるようにしていきます。

うさぎ組(4歳児クラス)

「お互いが納得できる様に」

「うさぎ組になる」と進級への期待を持ち、友達と一緒に遊ぶことが更に楽しくなってきました。そんな友達との関わりの中で、自分の意見を強く出し合ってトラブルになることもあります。時には友達と気持ちがぶつかり、悔しい思いや歯がゆい思いをすることがあるかと思えます。その経験の中から、相手の思いを受け入れたり理解したりしていけるように、お互いの思いを聞き納得して気持ちよく過ごせるように関わっていきます。友達関係を深め、クラスの仲間といる楽しさをたくさん感じられる一年にしたいと思います。

きりん組(5歳児クラス)

「友達とともに」

きりん組への憧れを持ち「きりん組さんになったらね」と期待に胸を膨らませていた子どもたち。最年長クラスになり誇らしさと緊張の表情が見られます。保育園最後の一年、行事はもちろん、日々の生活の中でも年長ならではの経験がたくさんあります。一人一人が輝き、やりきった気持ちを感じる中で、自信をつけていきたいと思えます。友達と一緒に協力して取り組む経験や友達の良さを認め合い、ともに育っていく経験を大切にしながら、仲間との繋がりを深めていける一年にしたいです。